

厚生労働大臣 舩添 要一 殿

社会福祉法人 野の花学園  
理事長 末永直行

印

平成 19 年度地域生活支援事業費補助金及び障害程度区分認定等事業費補助金  
(障害者就労訓練設備等整備事業等) 事業実績報告について

平成 19 年 12 月 14 日厚生労働省発障第 1214004 号で交付決定を受けた平成 19 年度地域生活支援事業費補助金及び障害程度区分認定等事業費補助金(障害者就労訓練設備等整備事業等)に係る事業実績報告について、次の関係書類を添えて報告する。

添付書類

- 1 地域生活支援事業費補助金及び障害程度区分認定等事業費補助金(障害者就労訓練設備等整備事業等)精算書(別紙 1)
- 2 実施状況調(別紙 2)
- 3 事業概略書(別紙 3)
- 4 歳入歳出決算(見込)書抄本
- 5 事業報告書及び資料
- 6 事業実施報告概要

## 地域生活支援事業費補助金及び障害程度区分認定等事業費補助金(障害者就労訓練設備等整備事業等)精算書

## 1-(1) 都道府県等総表(直接補助分)

(都道府県等名 : 福岡県 社会福祉法人 野の花学園 )

区分	種目	対象経費 実支出額 A	寄付金 その他の 収入額 B	差引額 (A-B) C	基準額 D	国庫補助 基本額 E	国庫補助 所要額 (E×補助率) F	国庫補助金 交付決定額 G	国庫補助金 受入済額 H	差引過不足額		備考
										超過額 I (H-F)	不足額 J (F-H)	
地域生活支援事業 費補助金	地域生活支援事業 ①											
障害程度区分認定 等事業費補助金	障害者保健福祉推進事業②	2,003,588		2,003,588	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0	0	
	工賃倍増計画支援事業 ③											
	小計(② + ③)	2,003,588	0	2,003,588	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0	0	
合計 (① + ② + ③)		2,003,588	0	2,003,588	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0	0	

(注1) 都道府県については、本表に実施した事業の精算額を記入すること。また、障害程度区分認定等事業費補助金中、障害者自立支援調査研究プロジェクトを実施した公益法人については、本表に精算額を記入すること。

(注2) D欄には、本通知から得られる基準額を記入すること。

(注3) E欄には、C欄とD欄の額を比較して、少ない方の額を記入すること。

(注4) 経費の配分変更を行った場合には、H欄に変更後の額を記入し、備考欄で、その増減額を明らかにすること。

○ 障害保健福祉推進事業

都道府県名、市町村名又は公益法人等名
社会福祉法人 野の花学園

1. 事業実施報告書

①事業名	地域住民によるグループホームサポート事業
②事業実施概要	<p>グループホームやケアホームを設置し障害者が地域生活を行う上で、地域住民の理解と協力及び生活場面でのサポートは不可欠である。</p> <p>そこで、一定の理解及び協力が得られるケースに限定して、グループホームまたはケアホームの世話人業務の一部を、モデル的にそのホームの地域住民（近隣住宅や隣組等）全体で実施する。</p> <p>地域住民への研修や連絡会議等を通じて、世話人個人ではなく地域全体で障害者を理解しサポートするという意識を持ってもらうとともに、地域の中で当たり前障害者が生活しているという環境づくりの一助とする。</p>
③国庫補助精算額	2,000 千円
④事業実施期間	平成19年6月1日 から 平成20年3月31日 まで
⑤事業実施場所	福岡市西区今津地区（野の花学園：福岡市西区今津4820-2）
⑥事業の具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物件及び地域の選定</li> <li>・ 利用者（知的障害者）の募集と選定</li> <li>・ 業務の手引き（業務マニュアル）作成</li> <li>・ 地域住民への事前説明会及び学習会（他地域への見学）の実施（1回）</li> <li>・ 支援センター今津宿泊体験（1回）</li> <li>・ 地域住民との意見交換会（1回）</li> <li>・ グループホームの受け入れについての地域環境調査（物件・住民意識）</li> <li>・ グループホーム付近の空き地の環境整備（住民と共同で花壇を作る）</li> </ul> <p>〔実際に行う業務〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 夕食の調理及び提供</li> <li>○ 日常生活における声かけと見守り</li> <li>○ 問題・事故等発生時における施設への連絡</li> </ul>
⑦事業の効果及び活用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常生活において障害者を意識することによって地域住民が「障害者を知らない」ことによる障害者への偏見や差別を緩和できる。</li> <li>・ 地域で障害者を支える仕組みのモデルとなる</li> <li>・ 業務マニュアルづくりや説明会、学習会、意見交換会をとおして、施設または施設職員が地域への関わりを更に深め、障害者への支援の質を向上させることができる</li> </ul>

- (注)
1. 事業ごとに別葉とすること。
  2. ②は、実施した事業の目的、内容等を的確かつ簡潔に記入すること。
  3. ⑥は、実施した事業の事業項目、客体、事業の実施方式等を具体的かつ詳細に記入すること。当該欄に記入困難な場合は任意様式で提出することも可。また、事業の実施に当たって参考となる資料があれば添付すること。
  4. ⑦は、実施した事業の効果と活用方法を具体的に記入すること。
  5. 調査事業に関する事業については、別添「調査事業報告書」を添付すること。

## 2. 実支出額内訳書

都道府県名. 市町村名又は公益法人等名
社会福祉法人 野の花学園

経費区分	対象経費の 実支出額	積算内訳	備考
賃 金	696,800円	担当臨時職員賃金 800円×871時間 =696,800円	
諸謝金	633,937円	世話人業務実施謝金 5,000円×72日 =360,000円 支援センター今津宿泊体験受入謝金 5,000円×3日×5名= 75,000円 夜間見回り業務謝金 1,000円×29日= 29,000円 地域環境調査業務謝金 2,500円×62名 =155,000円 他施設見学お礼 14,937円×1回 =14,937円	
旅 費	192,730円	担当臨時職員活動旅費7月～3月(9ヶ月)分 93,730円 地域住民の他施設見学旅費(経費扱い) 職員旅費(3,000円×1名、2,200円×4名) 11,800円 マイカーパス 他1台借上げ 78,400円 高速道路利用料(今宿～佐賀大和) 8,800円	
委託費	84,000円	空き地を花壇にする整地費用及び花の苗代金 約10㎡程度 一式 84,000円	
消耗品費	65,742円	事務用品(コピー用紙、封筒、筆記用具等) 7月～3月(9ヶ月)分 65,742円	
燃料費	91,350円	事務局職員活動に伴う公用車ガソリン代 7月～3月(9ヶ月)分 91,350円	
会議費	30,545円	事前説明会等食料費 3回分 30,545円	
印刷製本費	140,000円	業務マニュアル等印刷費 700円×200部=140,000円	
通信運搬費	68,484円	郵券料 7月～3月(9ヶ月)分 15,950円 電話代(1回線) 9月～3月(7ヶ月)分 52,534円	
合計	2,003,588円		

- (注) 1. 実施した事業ごとに別葉とすること。  
2. 「経費区分」欄には、交付要綱の4の別表の第4欄に定められた対象経費により記入すること。

事業目的

グループホームやケアホームを設置し障害者が地域生活を行う上で、地域住民の理解と協力及び生活場面でのサポートは不可欠である。

そこで、事業を通じて地域全体で障害者を理解しサポートするという意識を持ってもらうとともに、地域の中で当たり前障害者が生活しているという環境づくりの一助とする。

事業概要

1. 一定の理解及び協力が得られるケースに限定して、グループホームまたはケアホームの世話人業務の一部や夜間見回り業務の一部を、モデル的にそのホームの地域住民（近隣住宅や隣組等）全体で実施する。
2. グループホーム利用者が地域の社会資源等に宿泊し、地域住民の方と親睦を深める。
3. 地域住民への研修会や説明会を通じて、グループホーム及び障害者の理解を進める。
4. グループホーム設置の為に、地域の空き家及び空き地の調査を行う。
5. グループホーム近隣の空き地に花壇を作り、グループホーム利用者と地域住民が共同で管理を行う。

事業結果

グループホームの世話人業務や夜間の見回り業務を体験してもらうことで、住民のグループホーム及び障害者の理解は以前より確実に進んだ。また、ホームの利用者が地域の行事や自治会活動に参加する際には偏見も少なく、利用者も積極的に参加できている。

研修会や説明会を通じて、地域住民の方のグループホームに対する意見を聞く機会ができ、今後地域でグループホームを設置及び運営していく上での課題が明確になった。

また、事業をとおして地域に働きかけることによって、施設職員が地域への関わりを深めることができた。

今後の展開としては、グループホームの設置運営の際には地域住民の意見をふまえながら、一定の協力と理解が得られる範囲で、住民と共同で施設入所者等の地域移行を円滑に進めていく。

事業実施機関

社会福祉法人 野の花学園  
〒810-0044  
福岡県福岡市中央区六本松一丁目二番二二号  
福岡県社会福祉センター内  
電話 092-713-8180

平成19年度 社会福祉法人野の花学園 歳入歳出決算書抄本(見込)

(自)平成19年4月1日 (至)平成20年3月31日

単位:円

勘定科目		決算額	第一野の花学園	野の花学園グループホーム		
		[今津地区]	一般会計合計	GH合計	GHサポート事業分	
就労支援事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	10,659,000	0	0	0
		就労支援事業収入計(1)	10,659,000	0	0	0
	支出	就労支援事業支出	10,659,000	0	0	0
		就労支援事業支出計(2)	10,659,000	0	0	0
	就労支援事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		0	0	0	0
経営活動による収支	収入	自立支援費等収入	188,766,900	149,918,550	21,356,950	0
		私的契約利用料収入	59,012,100	46,075,950	9,148,500	0
		自立更生等作業収入	21,023,500	21,023,500	0	0
		施設実習等事業収入	342,000	342,000	0	0
		補助事業収入	28,509,500	359,100	0	2,000,000
		経営経費補助金収入	6,669,000	0	6,669,000	0
		寄附金収入	95,000	95,000	0	0
		雑収入	2,233,450	2,233,450	0	0
		借入金利息補助金収入	61,750	52,250	9,500	0
		受取利息配当金収入	87,400	47,500	1,900	0
		経理区分間繰入金収入	3,242,350	0	0	0
		経常収入計(1)	310,042,950	220,147,300	37,185,850	2,000,000
	支出	人件費支出	202,806,950	132,330,250	30,775,250	696,800
		事務費支出	29,066,200	21,584,000	1,226,450	672,851
		事業費支出	51,362,700	45,856,500	1,900,000	633,937
		借入金利息支出	52,250	42,750	0	0
		経理区分間繰入金支出	5,617,350	5,617,350	0	2,003,588
		経常支出計(2)	288,905,450	205,430,850	33,901,700	0
	経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		21,137,500	14,716,450	3,284,150	△ 3,588
施設整備等による収支	収入		0	0	0	
		施設整備等収入計(4)	0	0	0	0
	支出	固定資産取得支出	2,641,000	0	0	0
		施設整備等支出計(5)	2,641,000	0	0	0
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 2,641,000	0	0	0
財務活動による収支	収入		0	0	0	
		財務収入計(7)	0	0	0	0
	支出	借入金元金償還金支出	2,289,500	1,931,350	0	0
		財務支出計(8)	2,289,500	1,931,350	0	0
	財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 2,289,500	△ 1,931,350	0	0
予備費(10)		0	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		16,207,000	12,785,100	3,284,150	△ 3,588	
前期未支払資金残高(12)		163,971,000	98,959,000	35,093,000	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		180,178,000	111,744,100	38,377,150	△ 3,588	

地域住民によるグループホームサポート事業  
(世話人業務実施要綱)

- 1 目的 障害者が地域生活を行う上で、地域住民の理解と協力及び生活場面でのサポートを実施するために、地域住民の方より世話人業務の一部をモデル的に実施する事により、障害者の理解を深めて頂き、環境づくりの一助とする。
- 2 実施期間 平成 20 年 3 月 3 日 (月) ~平成 20 年 3 月 29 日 (土)
- 3 実施場所 浜崎・大原・緑町ホーム
- 4 業務の内容 数名のグループでも可

(浜崎・緑町・大原ホーム)

16:00 ~	調理準備・帰宅確認・健康状態確認 (バイタルチェック)
18:00 ~	夕食・片付け・小遣い帳確認・個別相談
20:00	業務終了報告

4 予 算

\* 受入謝 金 5,000 円×72 日=360,000 円

様式 2-2

《サポート事業世話人業務マニュアル》  
 (午後4時間) 一日4時間勤務

浜崎・緑町・大原ホーム)

16:00～	調理準備・帰宅確認・健康状態確認(バイタルチェック)
18:00～	夕食・片付け・小遣い帳確認・個別相談
20:00	業務終了報告

【グループホーム・ケアホームの標準的な支援内容】

①共同生活援助(グループホーム)

	主な支援内容
日常生活の質の維持・向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食事の援助</li> <li>・ 掃除、洗濯、買い物、脱着衣等の日常生活関連動作の支援</li> <li>・ 健康管理、服薬管理、金銭管理の援助</li> <li>・ 緊急時の応急対応</li> </ul>
相談援助、日常生活指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域生活のルール、適切な人間関係に関する支援</li> <li>・ 相談、日常生活指導、会話などを通じたコミュニケーション支援</li> <li>・ 余暇活動の支援</li> </ul>
日中活動のアレンジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日中活動に係る就労先企業やサービス事業所との連絡調整(事業所間での連携により、利用者の意向や健康状態等をサービス内容に反映)</li> <li>・ 日中活動を含めた利用者負担上限額管理</li> </ul>

②共同生活介護(ケアホーム)

	主な支援内容
日常生活能力の維持・向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食事の介護</li> <li>・ 掃除、洗濯、買い物、脱着衣等の日常生活関連動作の介護</li> <li>・ 移乗支援(ベットから車椅子等)、排泄支援、入浴支援等</li> <li>・ 健康管理、服薬管理、金銭管理の援助</li> <li>・ 本人の安心と安定の確保(主として行動障害)</li> <li>・ 緊急時の応急対策</li> </ul>



相談援助、日常生活指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域生活のルール、適切な人間関係に関する支援</li> <li>・ 相談、日常生活指導、会話などを通じたコミュニケーション支援</li> <li>・ 余暇活動の支援</li> </ul>
日中活動のアレンジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日中活動に係るサービス事業所との連絡調整（事業所間での連携により、利用者の意向や健康状態をサービスの内容に反映）</li> <li>・ 日中活動を含めた利用者負担上限額の管理</li> </ul>

\* 具体的な生活支援内容については新年度の世話人会議に年間支援計画とともに提示いたします。

**地域住民によるグループホームサポート事業  
(夜間見回り業務実施要綱)**

- 1 目的 障害者が地域生活を行う上で、地域住民の理解と協力及び生活場面でのサポートを実施するために、浜崎ホームの近隣住民に夜間見回りをお願いし、障害者についての理解を深めて頂く
- 2 実施期間 平成 20 年 2 月 7 日 (木) ~平成 20 年 3 月 21 日 (金)  
( 見回り時間帯 20:00~21:00)
- 3 実施場所 浜崎ホーム  
〒819-0165 福岡市西区今津 6 番 4 番 6
- 4 業務の内容

時刻	20:00~21:00
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 日常生活における声かけと見守り</li><li>・ 小遣い帳の記録確認</li><li>・ 21 時の支援施設への連絡確認 (利用者からの連絡)</li><li>・ 火元、戸締りの確認</li><li>・ 相談援助 (個別相談等)</li></ul>

- 5 予 算
- \* 謝 金 1,000 円×30 日=30,000-

<夜間見回りマニュアル>

期 間 平成20年2月7日(木)～平成20年3月21日(金)

時間帯 PM20:00～21:00

- 日常生活における声かけと見守り
- 火元、戸締りの確認
- 入浴の声掛け、洗濯確認等
- 小遣い帳の記録確認等
- 各居室の整理状況・タンス内整理状況
- 出勤準備等の確認、助言援助
- 相談援助（会社での悩み等、個別相談の受け入れ）
- 通勤寮宿直者からの21時電話連絡確認(利用者より)

平成20年2月18日

地域住民によるグループホームサポート事業  
(地域住民宅ホームステイ実施要綱)

- 1 目的 障害者が地域生活を行う上で、地域住民の理解と協力及び生活場面でのサポートを実施するために、地域住民宅へのホームステイを実施する事により障害者の理解を深めて頂き、環境づくりの一助とする。
  
- 2 実施期間 平成20年2月26日(火)～平成20年2月28日(木)
  
- 3 実施場所 支援センター今津(ファミリーサポートルーム)  
〒819- 福岡市西区今津 4820-2 番地  
TEL 806-4514
  
- 4 予算  
\* 受入謝金 5,000円×3日×5名=75,000円

平成 20 年 2 月 18 日

**地域住民によるグループホームサポート事業  
(ホームスティ世話人業務実施要綱)**

- 1 目的 障害者が地域生活を行う上で、地域住民の理解と協力及び生活場面でのサポートを実施するために、地域住民の方より世話人業務の一部をモデル的に実施する事により、障害者の理解を深めて頂き、環境づくりの一助とする。
- 2 実施期間 平成 20 年 2 月 26 日 (火) ~平成 20 年 2 月 28 日 (木)
- 3 実施場所 浜崎ホーム(支援センター今津)ファミリーサポート  
〒819- 福岡市西区今津 4820-2 番地  
Tel 806-4514  
中村亭(相撲部屋)での実施を計画していたが大家さんと認識の違いにより、やもうえず支援センター今津で実施する。
- 4 業務の内容

(浜崎・緑町・大原ホーム)

16:00 ~	調理準備・帰宅確認・健康状態確認 (バイタルチェック)
18:00 ~	夕食・片付け・小遣い帳確認・個別相談
20:00	業務終了報告

## 5 予 算

- \* 受入謝 金                    5,000 円×3 日=15,000 円
- ※ ホームスティ受入謝金 5,000 円×3 日×5 名=75,000 円

### 地域住民宅へのホームステイ実行計画

- 1、実施期間 平成20年2月26日(火)夕食～平成20年2月28日(木)夕食まで
- 2、実施場所 地域生活支援センター(ファミリーサポートルーム205)
- 3、利用者 浜崎ホーム5名(秋子・中瀬・広松・内田・渡邊)
- 4、支援スタッフ 浜崎ホーム世話人の津上さん、旧通勤寮職員が1日に2名(遅出1名・宿泊1名)
- 5、地域住民スタッフ 1名

#### 予定表

日時	時間													
	6	7	8	9:00～16:00			17	18	19	20	21	22	23	24
2月25日(月)				○世話人さん場所の見学・打合せ ○事前に居室・台所・居間等の掃除 職員2名他				○利用者の外泊準備 ○必要物品、お金の準備						
2月26日(火)～ 2月28日(木) 延べ2泊3日	○利用者は通常通りホームで食事をして、出勤 ○浜崎ホームから備品・荷物・寝具等の運搬 ○実施場所の掃除及び準備 職員2名(日勤1名・遅出1名)							遅出職員1名 13:30～21:30 ※最終日は20:00終了						
	夜間当直者 2日目と3日目							世話人1名 16:00～20:00						
	○朝食は、支援センターにて							地域世話人1名 17:00～20:00				初日と2日目 夜間当直者 21:15～8:30		
								○初日は、余暇支援として外出し健康センターで入浴 ○2日目は、飲酒許可 20:00～21:00 入浴は19:00～20:00の間で支援センター ○夜間当直者の各GHへの電話連絡業務は通常どおりおこなう ○各ホームへの夜間巡視は通常どおり行う						
2月28日(木)				○後片付け・荷物等の運搬 職員2名他										

#### ※備考

- 喫煙している利用者への注意、所定の位置で許可する
- 支援スタッフへの事前確認
- 緊急時の連絡体制について
- 利用者の内服薬について確認
- 利用者の衣類の洗濯は後日ホームに戻ってから行う

平成19年9月20日

浜崎町内会会長様

社会福祉法人 野の花学園  
野の花学園通勤寮  
野の花学園グループホーム  
施設長 進藤和昭

グループホームサポート事業（浜崎地区）説明会について

これまで当法人においては、今津地区を中心に知的障害者の地域生活を進めてきました。また、今年5月からは浜崎地区にグループホームを新たに開設でき、これも地域の皆様のご協力とご理解があつてのことであり、深く感謝しています。

この度、「地域住民によるグループホームサポート事業」（国庫補助事業）として浜崎地区のグループホームを対象に行う予定です。

つきましては、事業への協力をお願い、及び内容について地域の皆様の意見を聴かせて頂きたく、説明会を行いますのでご参加の程よろしくお願い申し上げます。

記

1. 日 時 平成19年10月6日（土）
2. 内 容 事業概要の説明  
（目的、内容等について）  
質疑応答及び意見の集約 他

※ 時間及び場所等についての詳細は後日確認いたします。

以上

問い合わせ先 知的障害者通勤寮 「野の花学園通勤寮」 〒819-0165 福岡市西区今津 4820-2 担当 榎田・山下 TEL092-806-4514/FAX092-806-4978
--

## 回 覧

施設長	次長	課長	職 員

平成 18 年 10 月 15 日

### グループホームサポート事業(浜崎地区)説明会 記録

【日時】平成 19 年 10 月 6 日(土) 19 時～19 時 30 分

【場所】浜崎集会場

【参加者】浜崎町内会役員、浜崎地区住民 33 名

【説明者/野の花学園】榎田次長・山下・木原

【説明会内容】(説明者：榎田次長、香月町内会長)

- 1、グループホームサポート事業の説明等（榎田次長より）
  - ・グループホームサポート事業の説明
  - ・野の花学園グループホームの事業説明（経過・現状・支援体制等について）
  - ・野の花学園グループホーム及び旧通勤寮の利用者についての説明
  
- 2、グループホームサポート事業を行うにあたっての具体的な提案（榎田次長より）
  - ・浜崎のグループホーム前の空き地に共同で花壇をつくる。
  - ・他の地区のグループホーム視察
  - ・地域住民を招いての、ホームでの食事会
  
- 3、町内会長（香月氏）より補足説明
  - ・事業の目的について  
グループホームの利用者と地域住民の関わりを深めること。  
お互いが、顔を覚えつながりできること。
  - ・障害者の地域移行へのながれについて
  - ・世話人業務についての体験等について

#### 4、質問・意見等

意見① 住民の方より

浜崎町内の、空き地や家の前に花壇を一緒に作り、きれいな町内になるようにしてはどうか。



## 回 覧

質問① 事業の継続的な取り組みは行うのか。花を植えても継続的に水をやったりするし、また1年間の限定的なものでは意味がないのではないか。

回答：事業自体は単年度予算なので、大きな取り組みは限定的にしか行えないが、2年目以降は、地域の方々と協力して取り組みを続ける方向で考える。

意見② 隣組に入ってもらいたい。

意見③ 浜崎地区の全戸に利用者のプロフィールを紹介してほしいが？

「浜崎町内役員より説明」

個人情報保護法の関係で、プロフィールの紹介は難しい。

意見④ グループホームのようなものが、地域と一緒にっていくには長いスパンがかかるもので、一年間だけの限定的な取り組みでは足りない。

花を植えたり、水をかけたりするのもたいへんで、一年間はいいかもかもしれないが、後は地域の方々でお願いしますというのは難しい面もある。

最後に、町内会長より説明（事業等に関して）

記録：通勤寮 山下

平成20年2月2日現在

担当 宮地 博司

地域住民によるグループホームサポート事業  
(地域住民による施設見学の計画書)

1. 目的 グループホーム・ケアホームの設置を行う上では、地域住民の理解と協力が不可欠であるという観点から、地域住民への研修を通じて、地域全体で障害者をサポートする意識を育てることを目的としている
- 2 日時 平成20年 3月 4日(火) 11:00～
- 3 見学地 社会福祉法人 めぐみ厚生センター  
知的障害者更生施設 「富士学園」(担当:早田)  
佐賀県佐賀市富士町内野209-8 Tel (0952) 63-0107
- 4 内容 ①グループホーム・ケアホームの見学  
②施設と地域住民との関わりについて 他
- 5 参加者 職員・・・榎田次長・山下・香月・木原・宮地(5名)  
地域住民・・・約15名  
※地域住民の出欠については、2月4日(月) 19:00からの自治協議会役員会にて説明を行った後、案内文を配布し、2月17日(日)までに取りまとめる。
- 6 交通手段 野の花学園マイクロバス 1台
- 7 行程  
8:30～ 学園集合  
9:00～ 学園発  
10:30～ 見学地「富士学園」到着  
10:30～12:00 グループホーム見学及び学習会  
12:20～14:00 「古湯温泉旅館 吉花亭」にて昼食・休憩  
16:00 学園着
- 8 費用について  
地域住民の方の参加者については、自己負担は一切なし
- 9 今後の流れ  
①富士学園への施設見学の依頼・日程についての連絡(了承済み)  
②地域住民の出欠の最終確認(2月17日)  
③富士学園への依頼文発送(2月22日まで) 他

社会福祉法人 めぐみ厚生センター  
富士学園 施設長 諫山 眞司 様

障害者支援施設 第一野の花学園  
施設長 進藤 和昭

### 施設見学について（お願い）

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当施設では平成19年度障害者保障者保健福祉推進事業のひとつである「地域住民によるサポート事業」を受託しています。この事業は、グループホームやケアホームの設置を行う上で、地域住民の理解と協力が不可欠であるという観点から、地域住民への研修等を通じて地域全体で障害者を理解し、サポートするという意識を育てることを目的としています。

そこで、当施設の職員及び地域住民の研修の一環として施設見学を行います。つきましては、業務ご多忙の折誠に恐縮に存じますが、下記のとおり貴施設へお伺いし、施設・設備の視察とともにご指導賜りたく存じますのでよろしくお願い申し上げます。

### 記

1. 希望日時 平成20年 3月 4日（火） 10時30分より
2. ご指導いただきたい内容
  - (1) グループホームの見学
  - (2) 地域住民との関わり方への取り組みについて
  - (3) その他
3. お伺いする職員
  - (1) 職員～ 支援次長 榎田 勝文  
支援員 宮地 博司・山下 亨・香月 敏喜・木原 一信  
地域住民（福岡市西区今津地区）～約15名

#### 問い合わせ先

障害者支援施設 第一野の花学園

担当／支援員：宮地

〒819-0165 福岡市西区今津 4820-2

TEL 092-806-4514／FAX 092-806-4978

今津地区地域住民 様

社会福祉法人 野の花学園  
障害者支援施設 第一野の花学園  
施設長 進藤 和昭

### 施設見学についての案内

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当施設では平成19年度障害者保健福祉推進事業のひとつである「地域住民によるサポート事業」を受託しています。この事業は、グループホームやケアホームの設置を行う上で、地域住民の理解と協力が不可欠であるという観点から、地域住民への研修等を通じて、地域全体で障害者を理解し、サポートするという意識を育てることを目的としています。

そこで、当施設の職員及び地域住民の研修の一環として施設見学を行うことになりました。つきましては、ご多忙の折誠に恐縮に存じますが、下記のとおり施設見学を予定しておりますので、ご参加のほどよろしくお願いいたします。

なお、出欠の確認については、急で申し訳ありませんが、2月20日（水）までに、下記の問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

### 記

1. 日時 平成20年3月4日（火） 9：00～17：00
2. 見学地及び内容
  - ア. 見学地： 社会福祉法人 めぐみ厚生センター  
知的障害者更生施設 富士学園  
佐賀市富士町内野 209-8
  - イ. 見学内容：①グループホームの見学  
②施設と地域住民との関わり方への取り組みについて  
③その他
  - ウ. 昼食会場：古湯温泉旅館 吉花亭
3. 参加予定者 野の花学園職員 5名
4. 交通手段 野の花学園マイクロバス
5. その他 参加者の昼食代などの負担は、一切ありません

問い合わせ先  
障害者支援施設 第一野の花学園  
担当/支援員：宮地・山下  
〒819-0165 福岡市西区今津 4820-2  
TEL 092-806-4514/FAX 092-806-4978





19野GH第 号  
平成19年 9月 1日

すみよい今津をつくる会  
会長 高城 芳助 様

社会福祉法人野の花学園  
野の花学園グループホーム  
管理者 進 藤 和 昭

### 今津地区の地域環境調査について（ご依頼）

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当法人では平成19年度障害者保健福祉推進事業のなかで、「地域住民によるグループホームサポート事業」を厚生労働省より受託しています。

この事業は、グループホームやケアホームの設置及び運営を行う上で、地域の皆様の理解と協力が不可欠であるという観点から、地域の皆様向けに研修会や説明会を催し、またグループホームの業務体験等を通じて、地域の方々が近隣のグループホームに住んでいる一人ひとりを理解し、障害者を含め地域全体がすみよい環境となることを目的としています。

そこで、今津地区のグループホーム受け入れについての地域環境調査を、「すみよい今津をつくる会」様にお願い申し上げます。

なお、地域環境調査についての具体的資料等提出については下記のとおりとします。

### 記

#### 1. 提出していただくもの

##### (1) 今津地区地域環境調査結果資料

※様式は任意。地図上に空家及び空き地等が確認できるもの。

##### (2) 謝金を支払うにあたっての根拠資料

※様式は任意。環境調査及び資料作成に携わった延べ人数が確認できるもの。

##### (3) 振込み口座が確認できるもの

#### 2. 提出期日

平成20年3月31日

問い合わせ先 野の花学園グループホーム 担当：榎田・山下 〒819-0165 福岡市西区今津 4820-2 TEL 092-806-4514/FAX 092-806-4978
---

平成20年3月20日

平成19年度 今津地区校区空き家・空き地調査実施状況について

1. 調査範囲【今津校区全域5地区】

(大原地区・緑町地区・本町地区・岡地区・浜崎地区)

2. 調査実施日及び調査者

※大原地区(実施担当者 4名 延べ日数13日)

	9/12(水)	10/10(水)	11/14(水)	12/12(水)	1/9(水)
高城 芳助	○	○	○	○	○
山崎 崇寿	○	○	○	○	○
大齒 司	○	○			
石田 靖和				○	

※緑町地区(実施担当者 3名 延べ日数12日)

	9/12(水)	10/10(水)	11/14(水)	12/12(水)	1/9(水)
樗木 増利		○	○		
富永 善樹	○	○	○	○	○
三好 律子	○	○	○	○	○

※本町地区(実施担当 2名 延べ日3日)

	9/12(水)	10/10(水)	11/14(水)	12/12(水)	1/9(水)
横尾 正		○		○	
大河 正博				○	

※岡地区(実施担当 4名 延べ日20日)

	9/12(水)	10/10(水)	11/14(水)	12/12(水)	1/9(水)
中村 隆暢	○	○	○	○	○
水崎 裕郷	○	○	○	○	○
池 登志治	○	○	○	○	○
池 幸子	○	○	○	○	○

※浜崎地区(実施担当 4名 延べ日数14日)

	9/12(水)	10/10(水)	11/14(水)	12/12(水)	1/9(水)
香月 敏喜	○	○		○	
西島 英記	○	○	○	○	
大齒 憲一	○	○		○	
井上 裕子		○	○	○	○

※実施者 17名 延べ日数62日(調査打ち合わせを含む)

3. 調査結果について

別途調査資料一式添付

4. 謝金について

一日 ¥2,500×延べ62日=¥155,000

すみよい今津をつくる会  
会長 高城 芳助



5300



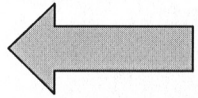
花壇

6200

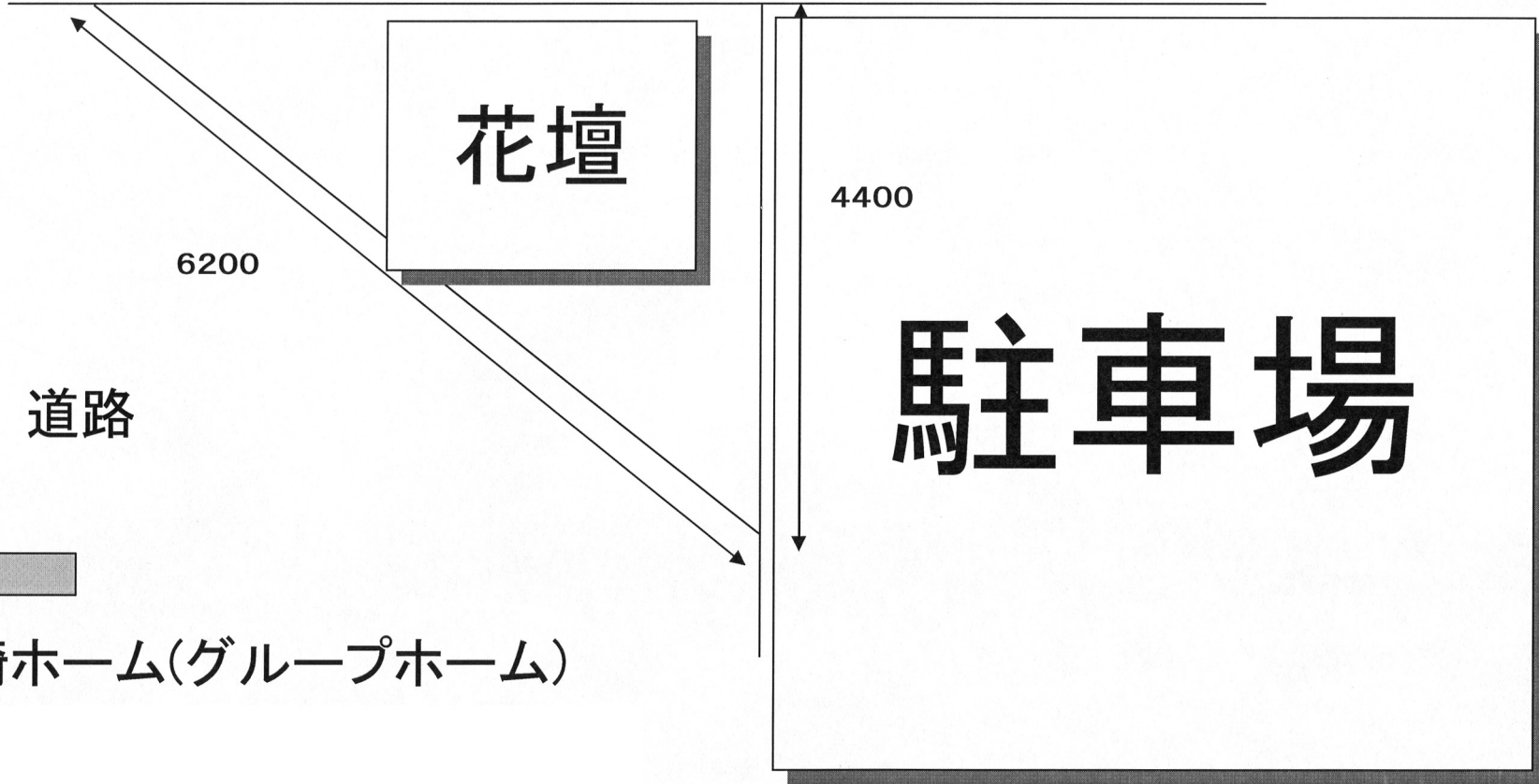
道路

4400

駐車場



浜崎ホーム(グループホーム)







平成 19 年度障害者自立支援調査研究プロジェクト 事業実施報告概要

事業名	地域住民によるグループホームサポート事業
事業目的	<p>グループホームやケアホームを設置し障害者が地域生活を行う上で、地域住民の理解と協力及び生活場面でのサポートは不可欠である。</p> <p>そこで、事業を通じて地域全体で障害者を理解しサポートするという意識を持ってもらうとともに、地域の中で当たり前前に障害者が生活しているという環境づくりの一助とする。</p>
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一定の理解及び協力が得られるケースに限定して、グループホームまたはケアホームの世話人業務の一部や夜間見回り業務の一部を、モデル的にそのホームの地域住民（近隣住宅や隣組等）全体で実施する。</li> <li>2. グループホーム利用者が地域の社会資源等に宿泊し、地域住民の方と親睦を深める。</li> <li>3. 地域住民への研修会や説明会を通じて、グループホーム及び障害者の理解を進める。</li> <li>4. グループホーム設置の為に、地域の空き家及び空き地の調査を行う。</li> <li>5. グループホーム近隣の空き地に花壇を作り、グループホーム利用者と地域住民が共同で管理を行う。</li> </ol>
事業実施結果及び効果	<p>グループホームの世話人業務や夜間の見回り業務を体験してもらうことで、住民のグループホーム及び障害者の理解は以前より確実に進んだ。また、ホームの利用者が地域の行事や自治会活動に参加する際には偏見も少なく、利用者も積極的に参加できている。</p> <p>研修会や説明会を通じて、地域住民の方のグループホームに対する意見を聞く機会ができ、今後地域でグループホームを設置及び運営していく上での課題が明確になった。</p> <p>また、事業をとおして地域に働きかけることによって、施設職員が地域への関わりを深めることができた。</p> <p>今後の展開としては、グループホームの設置運営の際には地域住民の意見をふまえながら、一定の協力と理解が得られる範囲で、住民と共同で施設入所者等の地域移行を円滑に進めていく。</p>
事業主体	<p>〒810-0044          福岡県福岡市中央区六本松一丁目二番二二号          福岡県社会福祉センター内          社会福祉法人 野の花学園          TEL：092-713-8180 E-MAIL：info@nonohana.or.jp</p>